

2022年5月の好演を受け **再登場!!**

佐藤 久成

ヴァイオリン・リサイタル

鬼才！この世のものとは思えない雰囲気と色

Hisaya

スメタナ:「わが故郷より」

Sato

ベートーヴェン:
ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 Op.47「クロイツェル」

Violin

ベートーヴェン(アンドレ編):
交響曲 第5番 ハ短調 Op.67「運命」

Recital

ヴラディゲロフ:
ブルガリア狂詩曲「ヴァルダル」 Op.16



ピアノ
佐野 隆哉

2023年3月11日(土) 16:00開演 15:30開場 [自由席] 一般 3,000円 学生(対象:小学生以上25才以下の学生) 1,800円
ハーフ60(後半のみ観賞の当日券)

チケットのお求めは
11月13日(日)
10時より販売開始

- 宗次ホールチケットセンター ① TEL:052 (265) 1718
- ② インターネット予約 →
- チケットぴあ WEB購入=<https://t.pia.jp/> 店頭購入=セブンイレブン
- 名鉄ホールチケットセンター TEL:052 (561) 7755



くらしの中にクラシック
宗次ホール
Munetsugu Hall
名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
営業時間:10:00 ~ 16:00 不定休
(終了時間は17:00もしくは18:00の場合有)

※「学生券」、「ハーフ60」は、宗次ホールチケットセンターのみで取扱い※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。
※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。※団体のお客様の為に席の一部を確保させていただく場合がございます。



偉大な名を歴史上に残すドイツの楽聖ベートーヴェン、その「暗から明へ」というドラマティックな楽曲構成は「音楽の革命家」として後世の作曲家のみならずあらゆる芸術家の模範となりました。今回のプログラムは、ベートーヴェンによる代表的大作2曲をメインに置き、前後に、ふるさとを思い懐かしさを感じさせる東欧の素敵な作品を添えました。

私はライフワークとして数万曲に及ぶ未知の絶版楽譜を世界中で収集、それらの埋もれた作品の蘇演・紹介に努めております。今回演奏する「運命交響曲」の編曲者ユリウス・アンドレ(1808-1880)はドイツのオッフェンバッハに生まれ、19世紀半ばにBreitkopf & Härtel社より楽譜出版されましたが長らく埋もれて絶版。私が20数年前にアムステルダムにて音楽家の家系を持つオランダ人の友人から入手したオリジナル楽譜です。2022年5月に東京文化会館小ホールでのリサイタルにおいて日本初演を行いました。

名古屋での再演をご堪能いただけましたら幸いです。

佐藤 久成

ヴァイオリン 佐藤 久成 Hisaya Sato, Violin

HP:hisayasato.com

東京藝術大学附属音楽高校を経て、東京藝術大学卒業後渡欧。ロームMF奨学生や特別奨学生として、ザールラント音楽大学、ブリュッセル音楽院、スタウファー音楽院、ベルリン芸術大学で研鑽を積む。日本演奏連盟賞受賞。リッチ、ルガーノ、ルイス・シガル、ベオグラード、ヴィオッティ等の国際コンクールで優勝、入賞。1994年、ベルリン交響楽団定期公演のソリストとしてヨーロッパデビュー。ベルリン響、ベオグラードフィル、ルーマニア国立響、ベルリン室内管、サンティアゴ響などと共演。ドイツ公共放送、ラジオフランス、イタリア放送、NHKにソリストとして出演。また、ピアノトリオを組みドイツ各地で公演を行う傍ら、アジア、中近東、オセアニア、アメリカに演奏旅行するなど、その演奏活動はソロに留まることなく幅広い。ライフワークとして、数万曲に及ぶ数々の未知の絶版楽譜を世界中で収集、それらの知られざる作曲家や忘れられた作品の発掘に力を注ぎ、紹介・初演・レコーディングを積極的に行う。2002年、カザルスホールにてデビューリサイタル、以降、毎年、東京でリサイタルを開催。音楽の友誌にて「年間コンサートベストテン」に選出されている。ワインガルトナーのソナタ集や伊福部昭の協奏曲集をはじめとするCDを発表、各メディアや書籍への執筆活動も精力的に行い、2010年「哀傷のラメント」「トリスタンとイゾルデ」、2012年「ニーベルングの指輪」「オード・エロティック」、2013年「魔界のヴァイオリン」、2014年「エヴォカシオン」、2015年「魔界のヴァイオリンII」、2016年「魔弓のレジェンド」、2018年「誘惑のヴァイオリン モーツァルト ソナタ集」を続々とリリース。その多くのCDがレコード芸術誌「特選盤」に選出。各誌、各新聞紙上で高い評価を得る。日本経済新聞朝刊文化欄に「よみがえれ埋もれた名曲」の見出しで独自の活動が取り上げられ大きな反響を呼び、産経新聞モーストリー・クラシック誌「最新格付け!世界の名ヴァイオリニスト」総合ランキングと現役ランキングの両方に選ばれた。2015年、大阪フィル、仙台フィルと共演し、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲のライブCDをリリース。2016年、群馬交響楽団と定期演奏会にて共演。2018年にはサントリーホール大ホールにてリサイタルを行う。2022年11月11日と2023年5月5日に東京文化会館小ホールでリサイタルが予定されている。

ピアノ 佐野 隆哉 Takaya Sano, Piano

HP:takaya-sano.com



都立芸術高校、東京藝術大学を経て同大学院修士課程を修了。在学中、アリアドネムジカ賞、アカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。大学院終了時にベーゼンドルファー・コンサートに選出される。2005年に渡仏後、スコラ・カントルム音楽院を最優秀で修了。2006年、日本人男性として初めてパリ国立高等音楽院第三課程研究科からの入学を許可され、2008年に修了。併せて2010年・室内楽科を最優秀で卒業。明治安田生命クオリティオブライフ文化財団海外音楽研修生。日本音楽コンクール第2位入賞(03年)を始めホセ・ロカ国際第2位(スペイン・08年)、ロン＝ティボー国際第5位及び聴衆賞、特別賞(仏・09年)等、国内外の国際コンクールで入賞。シヨパン国際コンクール・ディプロマ受賞(ポーランド・10年)。これまでにソリストとして、フランス国立管弦楽団、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団等々と共演。現在、国立音楽大学、都立総合芸術高校にて後進の指導にもあたっている。平成16年度青梅市芸術文化奨励賞受賞。第3回グラチア音楽賞受賞。

CD「DANZA」(LPDCD-010)、「クワイターの記憶(NAT15431-2、レコード芸術特選盤)」、「ドゥーズ・エチュード(NAT17481、レコード芸術特選盤)」をリリース。2022年には、世界初となる山田耕筰ピアノ作品全集をリリース予定。

【お客様へのお願い】

発熱など、体調に不安のある方はご来場をお控えください。

来館時、お手洗い使用後の手洗いや消毒にご協力ください。

館内ではマスクを着用してください。

開場時、お手洗い利用時の整列では間を空けてお並びください。

スタッフの勤務方法と共に、この他にも各感染予防対策を実施いたします。詳しくは、ホームページwww://munetsughall.comをご覧ください。

■地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsughall.com
URL https://munetsughall.com/
営業時間 10:00 ~ 16:00 不定休
(終了時間は17:00もしくは18:00の場合有)